

# 第26回新潟リハビリテーション研究会 兼 第9回新潟県災害リハビリテーション研修会

および日本リハビリテーション医学会関東地方会生涯教育研修会

日時：令和5年10月7日（土）14:00～18:00

会場：新潟大学医学部 有壬記念館

参加費：医師1,000円、メディカルスタッフ・学生 無料 **事前参加申込不要**

## プログラム

### 1. 新潟リハビリテーション研究会役員会（14:00～15:00）

— 休憩15分（15:00～15:15） —

### 2. 新潟リハビリテーション研究会会員総会（15:15～15:30）

\* 日本リハビリテーション医学会会員、新潟リハビリテーション研究会会員の皆様は全員ご参加下さい

— 休憩10分（15:30～15:40） —

### 3. 薬事案内 久光製薬株式会社（15:40～16:00）

「経皮吸収型 持続性疼痛治療剤 ジクトルテープ75mg について」

### 4. 関東地方会生涯教育研修会Ⅰ（16:00～17:00）

「『そもそも、災害医療とは何か』—災害支援を成功させるための第一歩」

〈座長〉 下越病院 リハビリテーション科 科長 張替 徹 先生

〈講師〉 新潟大学大学院 災害医学・医療人育成分野 特任教授 高橋 昌 先生

災害医療と聞くと「災害急性期の現場における外傷治療」をイメージされる方が少なくない。しかし、実際の災害医療は、時間的に必ずしも急性期ではなく、また空間的にも災害現場ではなく展開される。災害支援を行う上で、まず通常医療と比較して災害医療の違いは何かを問いかけ、そこから災害医療支援のあり方について概説する。併せて、新潟県が新型コロナウイルス感染症で世界で一番死亡率が低いその背景についてもお示しする。

### 5. 関東地方会生涯教育研修会Ⅱ（17:00～18:00）

「がんのリハビリテーション 最新のトピックスと今後の展望」

〈座長〉 新潟大学医歯学総合病院 リハビリテーション科 病院教授 木村 慎二 先生

〈講師〉 慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室 教授 辻 哲也 先生

2006年にがん対策基本法が制定されて以来、がんのリハビリテーション医療は大きな発展を遂げてきた。2023年度からは、第4期がん対策基本計画が始まるが、がんのリハビリテーション医療の果たす役割はますます大きくなるであろう。引き続き、社会復帰の観点も踏まえ、外来や地域の医療機関等と連携しながら、各地域の拠点病院等でのがんのリハビリテーション診療の均てん化を図っていく必要がある。本講演では、がんのリハビリテーション診療の最新のトピックスとともに今後の展望について言及する。

〈共催〉 新潟リハビリテーション研究会 新潟県災害リハビリテーション連絡協議会  
久光製薬株式会社

#### 【教育研修講演について】

○日本リハビリテーション医学会専門医（日本専門医機構認定）：1講演1単位 1,000円。

認定臨床医（日本リハ学会認定）：1講演10単位 1,000円。

○日本整形外科学会専門医資格継続単位：1講演1単位 1,000円。教育研修講演Ⅰ：[2] 外傷性疾患（スポーツ障害を含む）、[13] リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）1単位。教育研修講演Ⅱ：[5] 骨・軟部腫瘍、[13] リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）1単位。※IC会員カードをご持参下さい。

〈お問い合わせ先 事務局〉 〒951-8520 新潟市中央区旭町通1丁目754番地

新潟大学医歯学総合病院リハビリテーション科（内）電話/ FAX：025-227-0369

E-mail：riha-ken@med.niigata-u.ac.jp 事務担当 山本